

ミサイルの 避け方を 提案



衆議院安全保障委員会筆頭理事

国民にとってのミサイル対応

北朝鮮のミサイルが日本の領土又は領海に落ちそうな場合、「Jアラート」システムにより、皆様の携帯電話と市町村の放送が鳴ります。

正しい対応は、
屋内にいる場合…窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。
屋外にいる場合…頑丈な建物や地下街に避難する。
建物がない場合…物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

マニュアルの誤りを直す

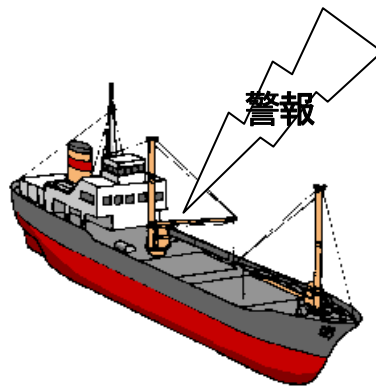
内閣官房のマニュアルが分厚くて分かりにくいばかりか、「直ちにドアや窓を全部閉めましょう」との記述は誤りではないかと指摘（正しくは、数秒後に着弾する可能性もあるので窓から離れるべ



き)。単純な文章を分かりやすく

い一枚紙で広報すべきと私から提案。四月二十一日の衆議院安全保障委員会で官房副長官が認め、ようやくできたのが上の三項目です。

船舶への警報を改善



ミサイルが発射されると、防衛省から内閣官房経由で海上保安庁、水産庁、国土交通省海事局を通じて三つのルートで船舶に対して警報が流されます。発射から約一〇分で着弾してしまうにも関わらず、各役所で警戒情報の入力作業をしていたので、これを自動的に流れるよう三月一〇日の安全保障委員会で提案。一部は既の実現し、システム改修に予算がかかるものは予算要求するよう指示しました。

文科省天下り再発防止を提案

四月一〇日の決算行政監視委員会分科会において、文部科学省の天下り問題に関し、再就職した際に法律の義務である届け出を怠っていた十五人について、国家公務員法に基づき「十万円以下の過料」を科すべきと提案。義家文部科学副大臣から「裁判所に通知を行うことといたしました」と前向きな答弁を頂きました。ところが、四月二七日現在でまだ裁判所へ通知されていないので、再発防止のためにも早急な通知を期待します。

日報の隠へいを与野党一致して追及せよ

稲田防衛大臣は約六割の国民が辞任すべきとの世論調査が出ています。隠へいが発覚した南スーダンの日報問題は、防衛省の「特別防衛監察」で現在調査中ですが、時間を稼いで逃げ得にしてはなりません。私は衆議院安全保障委員会の野党筆頭理事として与野党協議をまとめ、与野党が一致して六月十八日の国会会中に監察結果を提出するよう求めました。単なる与野党対決というより、立法院として行政をチェックすべきです。

